

令和7年度 西成区 こども・教育関連事業の実施について

1. 西成区こども生活・まなびサポート事業 重点施策推進経費（令和7年度 予算額 145,859千円）

(1)事業概要

西成区内の小中学校に在学する児童生徒のうち、家庭生活面等で課題を抱えるサポートが必要な児童生徒に対し寄り添い型の支援を行う支援員や有償ボランティアを配置する。不登校の状況に応じた支援を行うことで、「不登校の実質ゼロ」を目指す。また、小学校低学年の児童に対して授業中や休み時間等に寄り添い支援を行い、児童の学習姿勢を定着させ、学習習慣の定着、不登校の未然防止につなげる。

(2)実施内容（支援員等の配置状況）

	区登校支援・見守り支援員	区居場所支援員	区学習姿勢向上支援員 区低学年サポーター
対象校	区内 16 小中学校	区内 1 中学校（今宮中）	区内 10 小学校
主な 対象者	家庭生活面などで課題を抱える児童生徒（特に不登校の児童生徒）	学校に通うことはできるが教室に入ることが難しい不登校の児童生徒	小1 プробレムなどが原因で学習姿勢が身についていない小学校低学年の児童
配置 人数 配置 時間	各小中学校に 1 名（計 16 名） （1 日 7 時間 45 分勤務 週 5 日）	モデル校の 1 中学校に 1 名 （1 日 7 時間 45 分勤務 週 5 日） ※教育委員会事務局事業で、天下茶屋中、南津守小でも同様のスタッフを配置	【支援員】 各小学校に 1 名（計 10 名） （1 日 7 時間 45 分勤務 週 5 日） 【サポーター（有償ボランティア）】 各校年間 1,050 時間 1 時間あたり 1,200 円の報償金
資格	小学生又は中学生の指導や支援経験がある者 など	小学生又は中学生の指導や支援経験がある者 など	【支援員】 保育士又は幼稚園教諭の資格を有し、保育園等での勤務経験がある者 【サポーター（有償ボランティア）】 教員を目指す大学生等を想定
業務 内容	・電話・家庭訪問などにより児童生徒の登校を促す登校支援 ・学校にほとんど通うことができず、家から出られない児童生徒に対し、児童生徒の自宅を訪問し、学習、進路指導、相談対応など、不登校による不利益を生じないような支援を行う訪問支援	学校に通うことはできるが教室に入ることが難しい児童生徒に別室など校内の居場所を確保し、学びの場に定着できるように見守りを行う校内適応指導教室（スペシャルサポートルーム）における支援	小学校低学年の児童が学習に向かえるように支援する学習姿勢向上に向けた支援

スケジュール	(各支援員) ・各学期末に全体集合研修（意見交換会）を実施。（7月、12月、3月） (登校支援・居場所支援) ・各学期末に不登校に関する調査を各小中学校に依頼。（7月、12月、3月） (学習姿勢向上) ・年度当初及び各学期末に学習姿勢に関する調査を各小学校に依頼。（4～5月、7月、12月、3月） ・各学期中に授業の状況確認と打合せなどを実施。
--------	---

2. 外国につながる児童生徒の学習言語定着支援事業 重点施策推進経費 (令和7年度 予算額 9,050 千円)

(1) 事業概要

学習言語が定着しておらず、学力に課題がある帰国・来日等の児童生徒に対して、母国の学校では学習していない内容や、生活言語を習得するまでに授業を受けたため十分に理解できていない内容などの補充学習を行い、教科学習を通して日本語指導を行うことにより、教科等の学習に必要な言語の能力である学習言語の習得を促進し、学力向上につなげる。

(2) 実施内容

対象者	区内の小学校4年生～中学校3年生のうち、日本語指導教育センター校を通級終了程度の生活言語を習得した児童生徒。【日本語能力検定N4(一部)～N5程度のレベルを想定】 <u>また、日本語指導教育センター校に通級中であったとしても、日本語で簡単なコミュニケーションが取れるなど生活言語をある程度習得している児童生徒も受講可能。【日本語能力検定N5程度のレベルを想定】</u> ※講師は日本語で学習支援を行うため、児童生徒にはある程度の生活言語を習得していることが必要となるため、 <u>入塾に先立ち受講希望者の日本語習熟度を把握するために日本語能力試験を実施する。</u>	
申込方法	学校が受講者を推薦する。	
定 員	36 名	
科 目	算数（数学）、英語、社会、理科から児童生徒の学習状況に応じて1教科を選択する。 <u>※国語は必須教科。</u>	
実施内容	児童生徒1～2名に対して講師を1名配置し、個別の学習指導を行う。	
受講時間	小学生は100時間、中学生は150時間実施 ※中学生は、在籍校の授業や定期テストの課題など、現在進行形で困っている学習の手助けをする時間を設け、本事業に参加する意味づけを高める。	
授業料	無料	
場 所	岸里小学校 水曜日：小学生 17:30～18:30、 <u>中学生 18:40～20:10</u> // 金曜日：小学生 17:30～18:30、 <u>中学生 18:40～20:10</u> 鶴見橋中学校 火曜日：小学生 17:30～18:30、 <u>中学生 18:40～20:10</u> // 木曜日：小学生 17:30～18:30、 <u>中学生 18:40～20:10</u>	
スケジュール	令和7年4月8日（火） 小中学校の実務担当者向け事業説明会を開催 令和7年5月7日（水） 岸里小学校で授業開始予定 令和7年5月8日（木） 鶴見橋中学校で授業開始予定 令和7年9月実力テスト （1回目）実施予定 令和7年12月実力テスト （2回目）実施予定 令和8年2月実力テスト （3回目）実施予定	

3. 学力分析に基づく演習を活用した苦手分野克服事業 重点施策推進経費 (令和7年度 予算額 8,358千円)

(1)事業概要

中学校の学力診断検査や高校入試の本番を想定した模擬テストを通じて、生徒の苦手分野を把握し、生徒にフィードバックすることで自身の課題を認識させるとともに、苦手分野の反復演習をすることで、個人の学力向上を図り、ひいては学校全体の学力の底上げを図る。

(2)実施内容

対象者	区内中学生（1～3年生）	
科 目	国語、数学、理科、社会、英語	
受験料	無料	
スケジュール	令和7年4月1日	受託事業者と契約締結
	4月15日	学校向け事業説明会を開催
	4月15～18日	デジタルドリルの更新及び新規登録
	5月下旬～6月	中学校3年生 模擬テスト受験
	7月4日	テスト結果の返却及び模擬テストの単元をQRコードで読み取ることによりデジタルドリルで復習できる資料を送付
		結果に基づく苦手分野の問題を復習・演習
	9月上旬	3年生の既習管理情報を学校へ提供依頼（効果検証用）
	9月下旬	中学校1・2年生のテスト範囲を提示（暫定）
	10月中旬	中学校1・2年生のテスト範囲を提示（確定）
	11月下旬～12月	中学校1・2年生 模擬テスト受験
	12月上旬	模擬テストの単元をQRコードで読み取ることによりデジタルドリルで復習できる資料を送付
		資料をもとに模擬テストと同様の単元問題を復習・演習
	令和8年2月2日	テスト結果の返却
	2月下旬	1・2年生の既習管理情報を学校へ提供依頼（効果検証用）

4. 発展型学習支援事業(拡充) 重点施策推進経費 (令和7年度 予算額 23,284千円)

(1) 事業概要

家庭の経済状況の如何に関わらず本人が志望する水準の高等学校への進学ができるように、成績中上位層を中心とした学習意欲のある生徒に対して、発展的な内容の学習機会を提供することによって更なる学力向上を図る。

(2) 実施内容

対象者	区内の小学校5・6年生(定員140名)及び中学生(定員80名)
入塾テスト	<u>学力に応じた事業への参加を促進するため入塾テストを実施し、発展的な学習授業を提供する。</u>
科目	(小学生)国語、算数、英語 (中学生)国語、数学、英語 ※中学校3年生の長期休業中に理科・社会
時間数	(小学生)年間100時間 (中学1・2年生)年間150時間 (中学3年生)年間190時間(うち理科・社会が40時間) ただし、中学生は成績上位の高等学校に合格するには反復演習等が重要であり、授業で学習した内容を反復学習させるため、多くの宿題を課して家庭学習に取り組む時間を150時間以上設定し、学習時間を300時間以上確保する
授業料	無料
外部模試	<u>五木の模擬テストを中学1・2年生は年1回、3年生は年2回無料で受験できる</u>
場所	(小学生)天下茶屋小学校、岸里小学校、玉出小学校、千本小学校、橘小学校、まつば小学校、長橋小学校、北津守小学校、南津守小学校、新今宮小学校 (中学生)成南中学校、梅南中学校
スケジュール	令和7年1、3月 事前周知チラシ配布(第1弾、第2弾) 4月1日 受託事業者と契約締結 4月 募集チラシを配布、学校訪問、参加者募集、入塾テスト 5月 授業開始、1回目の実力テスト 7月 募集チラシを配布(2回目)、入塾テスト 9月 募集チラシを配布(3回目)、入塾テスト、2回目の実力テスト 10月 テスト結果提出(効果検証用) 12月 3回目の実力テスト(中学3年生) 令和8年2月 3回目の実力テスト(小学5・6年生、中学1・2年生)

5. 西成区基礎学力アップ事業(西成まなび塾) 区長裁量予算 (令和7年度 予算額 143千円)

(1)事業概要

区内の小学校5・6年生及び中学生に対し、小中学校校舎等の公共施設を活用した塾等事業者による課外授業（補習）を実施する。

(2)実施内容

対象者	区内の小学校5・6年生及び中学生
科 目	(小学生)国語、算数(中学生)国語、数学、英語
授業料	月額1万円(塾代助成カード利用可)
場 所	(小学生)北津守小学校、たちばな会館、玉出老人憩いの家 (中学生)鶴見橋中学校、たちばな会館、玉出老人憩いの家
スケジュール	令和7年4月 参加者募集チラシを区内小学校5・6年生と中学生に配布 9月～11月 区内10小学校で体験会を実施 (学校ごとに個別調整を行うため、 <u>1学期での開催も可能</u>) 12月 次年度の新5年生に対し募集チラシを配布

6. 基礎学力向上支援事業(西成ジャガピースクール) 区長裁量予算 (令和7年度 予算額 8,332千円)

(1)事業概要

区内小学3・4年生に対し、夏休みや平日の放課後、冬休みを利用し、小学校で塾等の事業者による課外授業を実施する。

(2)実施内容

対象者	区内の小学校在学の３・４年生	
定 員	前期：264 名、後期 270 名	
日 時	３・４年生：年間 45 時間 うち、前期（６月～夏休み終了）20 時間（夏休みや平日の放課後を中心に実施） 後期（２学期開始～２月）25 時間（平日の放課後や冬休みを中心に実施） を基本に学校ごとに個別調整	
科 目	国語、算数を重点的に実施 学校の希望に合わせて宿題サポートの実施	
スケジュール	令和 7 年 4 月 1 日 受託事業者と契約締結 4 月 14～18 日 学校と事業者の打ち合わせ 4 月 30 日～5 月 16 日 ジャガピースクール体験会（３年生） 5～６月 参加者募集、理解度テスト実施 6～９月 事業実施（前期） 9～２月 事業実施（後期）※後期からの参加も可能、 9 月上旬 １回目の実力テスト実施 令和 8 年 2 月 ２回目の実力テスト実施	

7. 学習支援サービス(マイクロステップ・スタディ) 区長裁量予算 (令和7年度 予算額 405千円)

(1)事業概要

個人にあった問題を出題する機能を持つeラーニングサービス「マイクロステップ・スタディ」を導入し、効率的に児童一人ひとりの学力や語彙の定着率を踏まえながら語彙力の向上を図り、誰も取り残すことなく学力と意欲の向上を図る。

(2)実施内容

対象者	北津守小学校3～6年生
科 目	漢字の読み
方 法	・各クラスが授業時間等の毎日5分～15分の時間を利用し、児童の学習者用端末も用いて学習を行う。 ・潜在記憶理論に基づく学習法（4段階回答方式）及び(※)独自のフィードバックシステムの採用。 ※ 学習した内容を潜在記憶が確実に積み重なっていることをグラフにし、学習履歴及び個人の成績の変化を可視化したもの。
スケジュール	令和7年4月 次年度の新3～新6年生の児童管理番号を受託事業者（岡山大学）へ提供 5月～3月 ライセンス付与後、学習開始 6月以降、毎月分の学習データを岡山大学から提出

- 学習を始めてすぐに結果が出るわけでは無いが、フィードバックシステムを活用し教員からのはげましの声掛けとともに、学習意欲の向上と成績向上につなげていく。
- 教育委員会事務局との連携事業として、令和6年11月より実施。実施より3か月後に岡山大学から学習意欲の向上が着実に出てきていると報告あり。
- 他区では令和6年度から生野未来学園が実施しており、令和7年度からは各ブロックで1校が実践校として実施予定。

8. プレーパーク事業 区長裁量予算（令和7年度 予算額 22,153千円）

(1)事業概要

魅力ある子育て環境を創出することで西成区に対する偏見やマイナスイメージを払拭し、西成特区構想でめざす子育て世代の誘引・定着への動機付けの一端を担う場となるべく子どもの生きる力を育む居場所であるプレーパークを実施する。

(2)実施内容

○プレイス型（にしなりジャガピーパーク）

元来のプレーパークとしての「遊び場」だけでなく、こどもが課題を克服できる場として、学習支援を行う「学び場」、自己肯定感を高めることができる「たまり場」の3機能の形成を図り、それぞれの場が有機的に連携することで「生きる力」を育むこどもの居場所としてのプレーパーク事業を実施する。

開催日	土日祝日及び長期休み中の平日（計 54 日間）
開催時間	10 時～17 時（冬季は 10 時～16 時 30 分）
場 所	・もと松之宮小学校校庭（<u>1 ヶ月に 1 回程度</u>） ・もと今宮小学校運動場用地（<u>1 ヶ月に 1 回程度</u>） ・もと松通保育所所庭（<u>1 ヶ月に 2 回程度</u>） ・区内公園 など（開催回数制限なし）

○体験型（ジャガパーわくわくクラブ）

体験活動により子どもの好奇心を刺激し物事への興味や関心を広げ、ひいては学習意欲も引き出すことを目的として実施する。また、令和7年に区制 100 周年を迎えるため、子ども向け記念イベントも実施する。

【子ども体験活動】

開催日	土日祝日及び長期休み中の平日（計 18 日間）
開催時間	<u>10 時～15 時</u>
場 所	・西成区内小学校体育館・運動場（各学校 <u>年に 1 ～ 2 回程度</u>） ・西成区役所庁前広場・区民ロビー など（開催回数制限なし） ・区内公園 など（開催回数制限なし）

【区制 100 周年記念イベント】

開催日	<u>令和7年 11 月 16 日（日）（予定）</u> ※西成区民まつりと同時実施
開催時間	<u>12 時 30 分～16 時 30 分（予定）</u>
場 所	<u>ノア・フットサルステージ天下茶屋</u>

9. 西成区こどもの読書活動推進支援事業 **校長経営戦略支援予算(区担当教育次長執行枠)**
(令和7年度 予算額 390千円)

(1)事業概要

読書活動を行うきっかけづくりとして、年間の読了冊数に応じて賞状を贈呈する。なお、対象となる本は、学校図書館・西成図書館・移動図書館で貸出されているものとする。

(2)実施内容

対象者	区内小・中学生			
年 間	小学校1年・2年	100冊	小学校3年・4年	70冊
目 標	小学校5年・6年	50冊	中学校1年～3年	25冊
スケジュール	令和7年3～4月 読書カードを児童生徒へ配付(必要校のみ)・ふりかえりシートの送付 令和8年1月 集計依頼 令和8年2月 読書数集計 令和8年3月 目標達成者へ賞状授与・学校で区長表彰(希望校) (最多読書賞も学校訪問時に表彰)			

10. キャリア教育推進支援事業 **校長経営戦略支援予算(区担当教育次長執行枠)**
(令和7年度 予算額 261千円)

(1)事業概要

西成区内在学の中学生を対象に、様々な分野で活躍するゲストティーチャーとの交流や講義を通して、ゲストティーチャーがどのような進路を選択し、どのような方法でその職業に就いたのかを学ぶなど、生徒が具体的な進路や将来の職業について考える機会を提供する。この機会をきっかけに、生徒が自己の進路を決定し、その目標に向かって学習や運動に取り組むことにより、学力や体力の向上につなげることを目標とする。

(2)実施内容

大阪市と連携協定を締結したプロスポーツチームよりゲストティーチャーを招く	
令和7年度実施校	今宮中学校・成南中学校・鶴見橋中学校
スケジュール	令和7年3月 学校にキャリア教育を実施する団体等の希望調査 令和7年4月～ 実施に向けた調整 6月～3月 事業実施

(3)申込状況

学校名	第1希望	第2希望	第3希望
今宮中学校	オリックスバファローズ	セレッソ大阪	大阪エヴェッサ
成南中学校	サントリーサンバーズ	JT マーヴェラス	オリックスバファローズ
鶴見橋中学校	サントリーサンバーズ	クボタスピアーズ	JT マーヴェラス

11. 大阪フィルハーモニー交響楽団出前授業事業 区長裁量予算（令和7年度 予算額 1,400千円）

(1)事業概要

区内小中学校の児童・生徒がプロの演奏に触れ、大阪フィルハーモニー交響楽団を身近に感じてもらうことで、地域への愛着や誇りをはぐくむとともに、楽団員の楽器との出会いや成功体験などを聞くことで、将来の目標を見出していける人材の育成をめざすことを目的として実施。

(2)実施内容

対象者	区内小学生、中学生
実施校	2年間で各小中学校訪問 ○令和7年度実施校 天下茶屋中・玉出中・梅南中 天下茶屋小・玉出小・橘小・まつば小・南津守小
場 所	各小中学校
内 容	各校の要望に合わせ、1～2コマ連続で実施

12.西成しごと博物館について

（大阪府中小企業家同友会南東ブロック西成住之江支部と協働実施事業）

(1)事業概要

西成区や近隣のこどもたちに、地元の企業の仕事内容を理解してもらうことで、働くことの大切さや面白さを感じてもらい、地元に誇りと愛着を持っていただくことを目的として区内の企業に出展していただき、仕事見学・体験を行う。

(2)事業対象者

西成区や近隣のこどもたち

区内小学生（4～6年生）、区内中学生（1～3年生）

(3)令和7年度の事業実施について

実施内容については、区役所・大阪府中小企業家同友会南東ブロック西成住之江支部とで協議中。

13. 帰国・来日等のこどものコミュニケーションサポート事業 **校長経営戦略支援予算(区担当教育次長執行枠)**
(令和7年度 予算額 2,114千円)

(1)事業概要

帰国・来日等の児童生徒で、学校生活において日本の生活習慣等に支援が必要な児童生徒に対し支援を行う「帰国・来日等のこどものコミュニケーションサポーター」を区内小中学校に配置することにより、支援対象者の学校生活の支援及び周囲の児童生徒への理解促進を行う。

(2)実施内容

活動実績に応じて、サポーターに報償金（1時間あたり 1,200 円）を支給する。また、1回の活動あたり 1,500 円を上限に交通費を支給する。

14. 小・中学校サポーター登録事業 **区長裁量予算**
(令和7年度 予算額 0千円)※予算額0千円であるが、区長裁量事業として実施

(1)事業概要

各学校で活動していただけるサポーターの情報を西成区役所で募集・登録し、各学校へ紹介する。

(2)その他

大阪市と連携協定を結んでいる(株)YOLO JAPAN の外国人求人メディア (YOLO WORK) に帰国・来日等こどものコミュニケーションサポーターを募集しており、今後も引き続き掲載していく予定。